

(保 199)

平成 23 年 1 2 月 1 5 日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

鈴木 邦彦

支払基金における突合点検、縦覧点検の実施について

支払基金における突合点検、縦覧点検につきましては、平成 23 年 4 月から実施予定となっておりますが、本年 3 月 22 日付け（保 245）「支払基金における突合点検、縦覧点検の延期について」でご連絡申し上げましたとおり、支払基金において、当面、開始時期を延期せざるを得ないとの判断がなされ、今後の開始時期については関係団体の理解を得た上で改めて案内する旨の連絡がなされたところです。

また、本年 3 月 8 日付け（保 227）「支払基金における突合点検、縦覧点検について」でご連絡申し上げましたとおり、日本医師会として点検実施はやむを得ないものと考えておりますが、点検後の具体的な査定方法等につきまして、支払基金と鋭意交渉を続けておりますことをご報告するとともに、貴会会員に対して、電子レセプト請求時に病名漏れなどがないようしっかりご確認いただくよう周知方をお願い申し上げたところです。

その後も支払基金と継続的に交渉をして参りました。

総論的には、支払基金が突合点検・縦覧点検の実施を言い出してから 4 年間も時間があつたにもかかわらず、問題の整理、基盤整備、対策などを打ち出して来なかったことを指摘し、各論として、主に突合点検について下記 3. に示す課題の対応を要請しました。

特に、調剤レセプトに記録されている医薬品の適応症が医科レセプトに記録されていない場合、一方的に、医療機関から査定し、薬局が誤っていた場合、後から医療機関が再審査請求をしなければならないことや、医療機関の薬剤が査定されたことで、薬局の調剤報酬（一包化加算など）の減点分を医療機関から減点するという取扱いがされていることにつきましては強く申し入れ、改善が望めない場合は実施を認めないとする姿勢で交渉を進めてきたところです。

2. 縦覧点検の概要

- 複数月にわたって同一医療機関から請求された同一患者の入院・入院外のレセプトをコンピューターで紐付けする。
- コンピューターにより、以下のような視点でチェックし付せんを貼付する。
 - 1) 複数月に1回と定められている検査など
例：骨塩定量検査、IV型コラーゲン、血液細胞核酸増幅同定検査等
 - 2) 2回目以降遡減と定められているもの
例：心電図検査、超音波検査 等
 - 3) 患者1人につき1回のみ算定と定められているもの
例：死亡診断加算、認知症専門診断管理料、肝炎インターフェロン治療計画料 等
- 付せんが貼付されたものを中心に、あくまでも審査委員が前月のレセプトを確認する必要を考えたものに限られる。
- 縦覧点検では、当月請求されたレセプトについて、過去のレセプト（最大6か月）を参考に、従来単月では判断できなかった診療項目を対象に、当月分の点検を行うので、過去のレセプトは査定対象にならない。
- 縦覧点検を開始する月から最大過去6か月に遡るのではなく、まずは開始月だけ、翌月は2か月分と増やしていく。

3. 支払基金に問題提起した課題とその対応

【課題1】

調剤レセプトに記録されている医薬品の適応症が医科レセプトに記録されていない場合、一方的に、医療機関から査定し、薬局が誤っていた場合、後から医療機関が再審査請求をしなければならないこと

《支払基金の対応》※別添1 参照

- 医療機関が発行した処方せんを取寄せて内容を確認する場合があることから、当月分の医療機関への支払はすべて請求どおりとし、保険者には減点したレセプトで請求する。
- 医療機関宛てに、事前に査定の対象（疑義）としている内容を連絡し、処方せん内容と異なる場合は申し出ていただく。査定の対象（疑義）とし

ているレセプトのすべてについて、その内容を記載した「突合点検結果連絡書（兼 処方せん内容不一致連絡書）（仮称）」を返戻レセプト等の送付時（審査翌月の5日頃）に同封する。

なお、以下の申し出が医療機関から無かった場合は査定となる。

- 「突合点検結果連絡書（兼 処方せん内容不一致連絡書）（仮称）」記載の薬剤や調剤技術料等が、医療機関が発行した処方せんの内容（処方の指示）と異なる場合には、当該連絡書にその旨記入の上、原則18日（土曜、日曜、休日に当たる場合は直後の平日。以下同じ）までに提出する。
- 上記連絡書の提出を受けた後、薬局から処方せんの写しを取り寄せ、どちらに誤りがあるかを確認し、審査翌々月又は審査翌々々月の支払で調整決定する。

なお、医療機関から申し出のなかった査定分は、翌月の支払時（審査翌々月の支払）に調整決定する。

- 再審査についても処方せんを確認の上調整決定する。

【課題2】

薬局が、先発品と後発品で適応症が異なる医薬品を処方した場合の取扱いをどうするか

《支払基金の対応》

- 現時点においては日本ジェネリック製薬協会から、後発医薬品の情報が公表されているが、あくまで「参考情報」という表現であり、さらに、そうした情報は不定期に更新されるため、常に最新の情報を把握することは困難であることから、支払基金としては、当該「参考情報」が、原審査の段階で適応外として減点の根拠とするところまでは、整備されていないという認識であり、その取扱いについて、厚生労働省当局へ照会中であり、回答が通知されるまでの間は、「審査できない（手を触れない）」扱いにする。



2 先発医薬品と効能効果に違いがある 後発医薬品の取扱いについて

平成22年11月理事会における質問事項

保険医療機関が後発医薬品への変更可として交付した処方せんについては、保険薬局は後発医薬品に変更できる。

その際に、保険薬局が先発医薬品の適応にあって後発医薬品にはその適応がない医薬品に変更調剤し、審査において適応外として査定となる場合に、調剤査定分の請求を保険薬局又は保険医療機関のいずれに請求するのか。

次回以降の理事会で支払基金で考え方を整理し回答することとした。

平成22年12月13日 基金理事長から厚生労働省保険局長あて「先発医薬品と効能効果に違いがある後発医薬品の取扱いについて」照会を行った。

厚生労働省への照会内容

保険薬局において、先発医薬品と効能効果に違いがある後発医薬品に変更調剤された場合に、結果として支払基金の審査で適応外として査定され、保険医療機関又は保険薬局のいずれかに査定額を請求しなければならないケースが生じる。

しかしながら、保険薬局から処方せんを取り寄せても保険医療機関又は保険薬局のいずれに対し、当該査定分を請求するかの判断は困難であると考えられ、その取扱いについて、厚生労働省に見解を求めた。

厚生労働省からの回答

厚生労働省保険局長から支払基金理事長あて
(平成24年1月17日・保発0117第1号)

(回答内容)

先発医薬品と効能効果に違いがある後発医薬品について、一律に査定を行うことは、後発医薬品への変更調剤が進まなくなること、また、それに伴い、医療費が増える可能性があること等を保険者に説明し、影響を理解してもらうよう努めていただきたい。

突合点検結果連絡書（兼 処方せん内容不一致連絡書）

（当該事例は、突合点検によりA剤10錠を1錠に査定した場合）

医療機関コード 11,2222,3
医療機関名 基金病院 御中

平成〇〇年〇〇月分突合点検結果連絡書
（兼 処方せん内容不一致連絡書）

ページ 番号

社会保険診療報酬支払基金〇〇〇支部

診療年月 受付番号 レセプト番号 診療科	保険者 番号等	区分 氏名 カルテ番号	調剤金額		増減点数（金額）		事由	処方 月日 調剤 月日	負担	請求内容	負担	修正・査定後内容	薬局コード等
			法別	金額	法別	点数 （金額）							
1234-56,789,100 000,006 01000000000000	03*****	本外 基金 一郎 12345678901234567890	06	-¥700	06	-100	A	0412 0412	1 1	A錠 100mg 10錠 B錠 10mg 2錠 20×10 薬剤料 200	1 1	A錠 100mg 1錠 B錠 10mg 2錠 10×10 薬剤料 100	東京都 9876543 支払薬局 03-1234-5678
<p>突合点検結果連絡書（兼 処方せん内容不一致連絡書）</p> <p>突合点検による査定内容について、お知らせする帳票です。 レセプト請求月の「増減点連絡書」等の発送に併せて送付します。</p> <p>「請求内容」欄の医薬品又は調剤技術料等に関して、交付した処方せんの内容と相違している場合（ジェネリック医薬品への変更を除く。）は、「請求内容」欄の該当する医薬品等を○で囲み、「処方せん内容不一致連絡書」として保険医療機関の所在地の支払基金支部あて郵送により、「突合点検結果連絡書」の届いた月の18日（必着）までに申し出をお願いします。</p>													
備考												合計調剤金額	-¥700

注 保険者番号等欄の「42-13-6010」は、70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置の金額を表示しています。

記号凡例

（増減点事由）

- | | |
|---|----------------|
| A 療養担当規則等に照らし、医学的に適応と認められないもの | F 固定点数が誤っているもの |
| B 療養担当規則等に照らし、医学的に過剰・重複と認められるもの | K その他 |
| C 療養担当規則等に照らし、A・B以外の医学的理由により適当と認められないもの | |
| D 告示・通知の算定要件に合致していないと認められるもの | |

（突合点検結果について）

貴院から請求されたレセプトと処方せんに基づく調剤レセプトを照合して点検した結果、審査委員会において上記のとおりとなりました。

「請求内容」欄の医薬品に関して処方せんの内容（ジェネリック医薬品への変更を除く。）と相違している場合は、支払基金までご連絡願います。

一部省略

ページ番号
社会保険診療報酬支払基金〇〇〇支部

増減点連絡書

「補正・査定後内容」欄に、縦覧点検の結果による査定等の場合は「縦覧点検」、入外点検の結果による査定等の場合は「入外点検」とそれぞれ表示します。

(補正・査定後内容)

突合点検
調剤を実施した薬局に係る調剤レセプトとの照合
点検により補正・査定された内容

横覧点検
複数月にわたるレセプトの通覧点検により補正・
査定された内容

入外点検
入院と入院外レセプトの通覧点検により補正・
査定された内容

(機械様式第120号の3)

突合点検調整額通知票 (医療機関)

医療機関コード 01-02722 点数表 1
医療機関名 医療法人 基金病院

社会保険診療報酬支払基金

下記の突合点検等に係る減点内容について、処方せん(写)を確認した結果、平成 年 月診療分において、減点分に係る費用を貴保険医療機関から調整しましたので通知いたします。

保険者 区分 患者氏名	06-13-2013 2 診療年月 23.10 受給者番号		調整金額 療養費	件数 -△△△	日数	点数 -△△	一部負担金
薬局コード 所在地 名称	01-41002 TEL: 00-00000-00000 東京都港区新橋2丁目1-1 基金薬局新橋店						
事由及び箇所 番号 項目 事由		増減点	増減点内容				
21 A		-△△	〇〇錠10mg 3錠 → 2錠 △△×△△ → △△×△△				
<div>突合点検調整額通知票(医療機関)(機械様式第120号の3)</div> <div>突合点検等に係る査定内容について、保険医療機関から「処方せん内容不一致連絡書」による申し出があり、処方せんの写しを確認した結果、査定分に係る費用を保険医療機関の支払額から調整した場合に通知する帳票です。原則、レセプト請求月の翌月請求分に係る「増減点連絡書」等の発送に併せて送付します。なお、保険薬局からの処方せんの写しの到着日によっては、その1か月後となる場合があります。</div>							
整理番号 : (-) (/)							

(機械様式第120号の3)

突合点検調整額通知票 (医療機関)

医療機関コード 01-02722 点数表 1
医療機関名 医療法人 基金病院

社会保険診療報酬支払基金

下記の突合点検等に係る減点内容について、平成 年 月診療分において、減点分に係る費用を貴保険医療機関から調整しましたので通知いたします。

保険者	06-13-2013	調整金額	件数	日数	点数	一部負担金
区分	2 診療年月 23.10 受給者番号	療養費	-△△△		-△△	
患者氏名						
薬局コード	01-41002	TEL	00-0000-0000			
所在地	東京都港区新橋2丁目1-1					
名称	基金薬局新橋店					
事由及び箇所						
番号	項目	事由	増減点	増減点内容		
	21	A	-△△	〇〇錠10mg 3錠 → 2錠 △△×△△ → △△×△△		
<div>突合点検調整額通知票(医療機関)(機械様式第120号の3)</div> <div>突合点検等に係る査定内容について、保険医療機関から「処方せん内容不一致連絡書」による申し出がなく、査定分に係る費用を保険医療機関の支払額から調整した場合に通知する帳票です。 レセプト請求月の翌月請求分に係る「増減点連絡書」等の発送に併せて送付します。</div> <div>申し出期限までに「処方せん内容不一致連絡書」による申し出がない場合、突合点検による査定額を、原則、レセプト請求月の翌月請求分に係る保険医療機関の支払額から調整します。</div>						
整理番号 :						

突合点検調整額連絡票 (医療機関)

医療機関コード 01-02722 点数表 1
 医療機関名 医療法人 基金病院

社会保険診療報酬支払基金

下記の突合点検等に係る減点内容について、処方せん(写)を確認した結果、平成 年 月調剤分において、減点分に係る費用を処方した保険薬局から調整しましたことを連絡いたします。

保険者	06-13-2013	調整金額	件数	日数	点数	一部負担金
区分	2 診療年月 23.10 受給者番号	療養費				
患者氏名						
薬局コード	01-41002	TEL	00-0000-0000			
所在地	東京都港区新橋2丁目1-1					
名称	基金薬局新橋店					
事由及び箇所						
番号	項目	事由	増減点	増減点内容		
	21	A	-△△	○○錠10mg 3錠 → 2錠 △△×△△ → △△×△△		
<p>突合点検調整額連絡票(医療機関)(機械様式第120号の6)</p> <p>突合点検等に係る査定内容について、保険医療機関から「処方せん内容不一致連絡書」による申し出があり、処方せんの写しを確認した結果、査定分に係る費用を保険薬局の支払額から調整した場合に連絡する帳票です。</p> <p>原則、レセプト請求月の翌月請求分に係る「増減点連絡書」等の発送に併せて送付します。</p> <p>なお、保険薬局からの処方せんの写しの到着日によっては、その1か月後となる場合があります。</p> <p>処方せんの内容と異なる調剤を保険薬局が行っている場合、及び「処方せん(写)提出依頼書」を送付した月の末日までに処方せんの写しの提出が得られなかった場合は、突合点検による査定額を、原則、レセプト請求月の翌月請求分に係る保険薬局の支払額から調整します。</p>						
整理番号 : (-) (/)						